

令和4年11月14日
代表取締役社長
早澤 幸雄

センコーグループホールディングスによる当社株式へのTOBについて

拝啓 平素は当社業務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本日公表致しました「センコーグループホールディングス株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」の通り、当社は取締役会におきまして、センコーグループホールディングスからご提案頂きました当社株式に対する公開買付けのお申し出に賛同することに致しましたので、ここにお知らせ申し上げます。

当社は2011年以降11年間に亘り三菱商事のグループ企業の1社として事業を継続して参りました。

その後、三菱商事は2018年に優先株を引き受け、当社の構造改革を支援し、外部環境にも恵まれた結果、直近では昨年まで4期連続の黒字を計上することが出来ました。

一方、三菱商事は本年5月に発表した中期経営計画「中期経営戦略 2024～MC Shared Value（共創価値）の創出～」に於いて、カーボンニュートラル社会の実現に資する事業に投資を集中する戦略を示しました。これに伴い、三菱商事は当社の中長期的な成長を実現できるパートナーへの経営権の譲渡を検討するに至りました。慎重に検討が重ねられた結果、三菱商事としては、センコーグループホールディングスによる当社株式に対する公開買付けのお申し出を受諾することとなりました。

今回のお申し出については、当社においても、独立性のある役員等で構成する特別委員会での議論も含め、当社の企業価値向上に資するご提案か否か等、あらゆる角度から検討を重ねて参りました。センコーグループは物流事業を中心として、商事事業、ビジネスサポート事業、ライフサポート事業を展開し、消費者の生活に関連する強固な事業基盤を有しております。当社は、今回のお申し出は、物流機能の効率化、事業の拡大、経営資本の増強などを通じ、ステークホルダーの皆様の利益にも適うものと確信し、正

式にお受けすることと致しました。

センコーグループホールディングスによる当社株式に対する公開買付けは、2回に分けて実施され、第一回目は三菱商事の保有する全株式を対象に、本日終値よりディスカウントされた195円にて買い付けることとし、公開買付期間は令和4年11月15日から令和4年12月13日までを予定しているとのことです。第二回目はその他少数株主の皆様が保有する当社株式の全部を対象に、11月11日の終値に対して26.67%のプレミアムを付した418円にて買い付け、公開買付期間は令和4年12月21日から令和5年2月7日までを予定しているとのことです。その後の手続きによりセンコーグループホールディングスは当社株式を100%保有し、当社は非上場化される予定です。また、センコーグループホールディングスが当社株式を100%取得した後、円滑な経営移管等を目的として三菱商事は当社株式の40%を再取得することが予定されているとのことです。なお、今回の公開買付けの詳細については、センコーグループホールディングスによる本日公表の「中央化学株式会社（証券コード：7895）に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」及び当社による本日公表の「センコーグループホールディングス株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」をご参照いただければ幸いです。

今回の公開買付けが成立した暁には、当社はセンコーグループホールディングスの連結子会社として再出発することとなります。

今回の公開買付けが成立した後も、当社として、安全・安心な食品容器の安定供給に誠心誠意努力することに変更ありません。今後とも倍旧のお引き立てを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

敬具